

「盛岡という星でBASE STATION」で起こる
さまざまな出来事や、周辺の情報、盛星プロジェ
クトに関するお知らせやクソッと笑える小ネタなど
不定期で発行中。



もりほし通信 MORIHOshi NEWS 2024.3 [5号]

本を読むならこんな場所で。

本好きが多い盛岡。「盛岡という星で」SNSフォロワーの皆さんはどこで読書をしているのか、アンケートで聞いてみました。盛岡旅行の途中に、お休みの日に、街と読書を楽しんでみてくださいね。

カフェや喫茶店で

1. 青山の「ダニーハ」は落ち着いて読書しやすい。店内に本が沢山あってそれを読むのも楽しいです。
2. 開運橋近くのビル2階に入っている「pono books & time」はワーキングスペースも兼ねた本屋さんで、店主の方も優しくて面白いのでおすすめ。
3. クロステラスの「4番目の珈琲店」のカウンターで季節のティーを飲みながら読むのが好き。時々外を見て日の変化を楽しめるのもよし。
4. 「戸塚珈琲店」看板犬カエデに見守られながら読む本は最高です！
5. 「リーベ」の2階席で紅茶を飲みながらゆっくり本を読むのが好きです。
5. やはり「リーベ」落ち着いた時間のリーベで本を読む時間ほど至福の時はありません…
6. 「バク」の冬限定ホットケーキを食べながら落ち着くのが好き♪
7. 「ふかくさ」外のベンチもいいです！
8. 読書は家か新幹線での移動中にしかならない派ですが「紅茶の店しゅん」で美味しい紅茶を飲みながらの読書は凄く落ち着くと思います。
9. 「羅針盤」ゆったりとした時間とチョコレートを楽しみながらの読書は贅沢な時間です。
10. 「車門」が大好きです！

11. 高松の池の近くの「盛岡市立図書館」(2024年リニューアル！)
12. アイーナにある「岩手県立図書館」は定番の読書スポット。
13. 「アイーナの5～6階」静かで開放感がある。



自然のそばで

14. 「盛岡城跡公園(岩手公園)」天気の良い日に川沿いのベンチに座るととても気持ちがいいです。
15. 「高松の池」
16. 「北上川の川沿い」で本を読むのが好きです。
17. 「岩手大学農学部 附属植物園」のベンチ。

盛岡上級者の声

18. 「露骨」(Due Maniの金曜夜)
 19. 学生の頃は「カワトク」の3階か4階にある休憩スペースが好きだった。今もあるのかな？
 20. 「シダナイ古書堂」新しい本との出会いがあつて良いです。
- 「一人じゃじゃの待ち時間」は結構読める。

たくさんのご回答ありがとうございました！SNSでの特集「ことば」では方言についてのアンケート回答を紹介しています。



vol.6 さとうももか 佐藤百郁さん



初めて挑戦したイベントは旅行に関するもの。「結構楽しかったけど、人集めが課題だなと思いました」
momo cafe では高校生たちとお菓子をを作ったりします。盛星BSでは調理以外の活動をしてみたいです！

Q. 盛星との出会いを教えてください。
A. ベースステーション(BS)に興味はあったのですが、行く勇気も用事もなくて。子ども食堂の立ち上げの相談や見学をしていた頃、盛星の「イベントを作ろう」というワークショップを知って参加したのが始まりです。

Q. その後「momo cafe」の活動を？
A. はい、中高生が自分らしくいられる、学校でも家庭でもない第3の場所を作っています。子ども食堂という貧困支援等のイメージもありますが、福祉や看護に興味があり来てみた子や、単に面白いし美味しいからって子も多いんですよ。

Q. 盛星BSも使っていきたいとか。
A. せっかくこんないい場所があるんだし、どんどん利用したいです。私の活動はみんなの主体性を大事にしていて、運営にも関わってもらっています。一緒にお菓子の発表会なんかしてみたいですね。

Q. 盛星BSってどうですか？
A. 利用者が開催したイベントに混ぜてもらったり、盛星チームのさんさ踊りに出たりもしましたね。しばらく来られていなくても窓口の方がとても温かく迎えてくれるので、「一回来た人は盛星メンバー」なんだなって感じます。

菜園ごはん



食べ切りコラム

仄暗い店内を漂うジャズの音色、バックカバーを埋めるアナログレコード、スウィングするマスターの動き。そしてカウンターにはギターの動きと艶めく太極ナポリタン。うん、最高、食べれる前からもう百点。バリトンサックスばりにブルーノ・モントゥーに急かされた、フオークにこんもり巻きつけたアルペンテ知らずのもちもち麺を頼める。目を瞑り、もにも、と噛み締める。うん、やっぱり最高。ジャズもウィスキーもナポリタンも、時を経てなお輝きを増す物ばかりに囲まれた幸福な場所。つい20分前まで仕事をしてたのが嘘みたいな月曜夜。菜園で働いていて良かったと、心安らげる編集部のなでした。

「珈琲 洋酒 パノニカ」盛岡市菜園

U.M.S Unknown Morioka Story まちの雑学

「二度泣き橋」の別名で知られる開運橋は、明治23年の盛岡駅開業に合わせて架けられました。提案したのは「旧石井県令邸」でおなじみ、今言う県知事だった石井省一郎さん。ところが盛岡市長選の結果を覆すほどの剛腕ぶりが仇となり、計画を反対されてしまいます。そのため市内の有力者らの協力を仰ぎ、自力で架設したのだそうです。私設ということもあり、当初は通行料を取っていたとか。その後、幾度かの架け替えが行われ、現在の開運橋は昭和28年製。ちなみに「二度泣き橋」の名付け親は、平成6年まで日本銀行盛岡事務所長をされていた、自身も転勤族の古江和雄さんです。

二度泣き橋の名付け親は…



赴任時は「遠くまで来た」と泣き、街を離れる時は去り難く泣くと言われる開運橋。

【青山・大館】新しい季節、心地よい衣食住を探しに行こう

「コンパクトで、歩いて楽しい街」。そんな書き出して始まる盛岡案内の記事をたくさん見かけたここ1年。そんな中立ち寄った街中のお店で、「青山とか大館って結構おもしろいと思うんだよ、エリアとして大きく取り上げられることはあんまりないけど、衣・食・住、ぎゅっというお店が固まっているし…」なんて話を店主としたことをきっかけに、今回は盛岡市中心部から少し北へ。車で楽しむ小さな旅です。



小さい旅 by LITERS



◎全編はこちらのURLから→ https://liters.jp/minitrip_aoiyama/